

台風第10号の今後の見通しについて

強い台風第10号は、温帯低気圧の性質を帯びつつ、関東の東海上を北上し、次第に加速しながら北北西に進路を変えて、30日夕方頃に、強い勢力を保ったまま暴風域を伴い東北地方に接近し、上陸する見込み。30日夜遅くには、日本海へ進む見込み。

＜大雨＞東日本・北日本では、これまでの24時間で150ミリ以上の雨が降ったところがある。これから北日本を中心に、非常に激しい雨となり、局地的には1時間80ミリ以上の猛烈な雨が降り、大雨となる。北日本では、平年の8月1ヶ月分程度の降水量となる地域もあり、**土砂災害、河川の増水やはん濫、低地の浸水に厳重に警戒。**

＜暴風・高波＞東北太平洋側や関東地方の海上では、うねりを伴い大しけとなっている。今後、北日本を中心に、広い範囲で非常に強い風が吹き、海上では猛烈な風となり、海は大しけ、猛烈にしけるところもある。**暴風や高波に厳重に警戒。**

＜高潮＞大潮の時期であり、北日本太平洋側の湾・沿岸では、30日午後から31日朝にかけての満潮時に台風の接近が重なり、**高潮に厳重に警戒。**

＜竜巻突風＞竜巻などの激しい突風は台風から離れた場所でも発生、十分注意。

台風の接近に備えて

8月30日
11時時点の資料

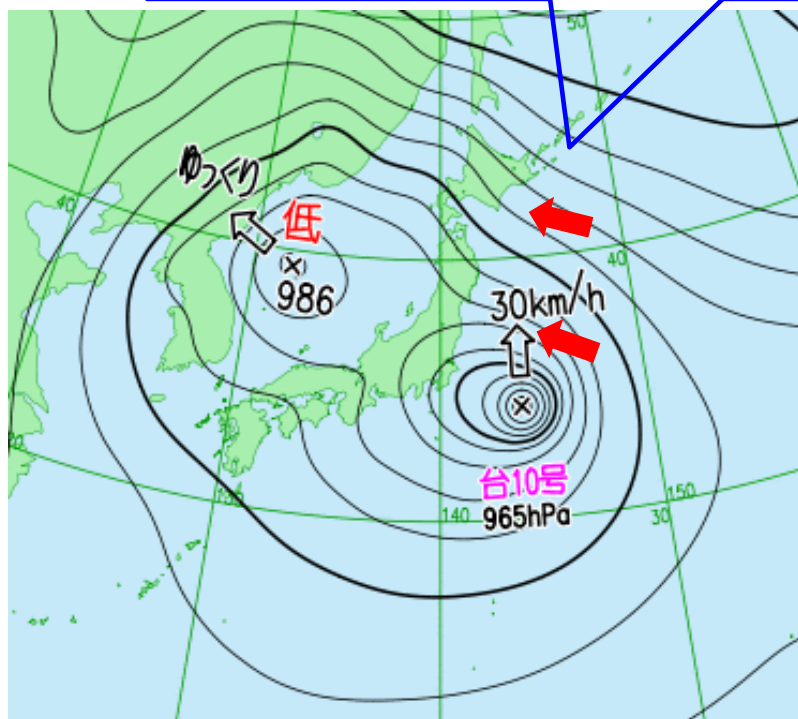
- 各地気象台の発表する注意報・警報など気象情報に留意するとともに、市町村の避難勧告等に注意してください。
- 大雨による土砂災害・洪水・低い土地の浸水をはじめ、暴風、高波、高潮など、自分のいる場所ではどのような災害が起こりやすいのかを予め確認し、雨や風が強まる前に早め早めの安全確保をお願いします。
- 屋外での作業や不用な外出は控え、海岸や増水した河川・用水路など危険な場所には絶対に近づかないなど、十分注意してください。
- 交通機関などへの影響が予想されますので、余裕を持った対応をお願いします。
- 今後の台風の進み方によっては状況が変わってきますので、最新の情報を利用してください。

今後の予想を含めた最新の情報は、各地の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(気象庁HP: <http://www.jma.go.jp/jma/index.html>)

天気図と衛星画像

8月30日
11時時点の資料

北日本・東日本では湿った東よりの風が流れこみ、広い範囲で雨となっている。
30日9時までの24時間に150ミリ以上の雨が降ったところがある。

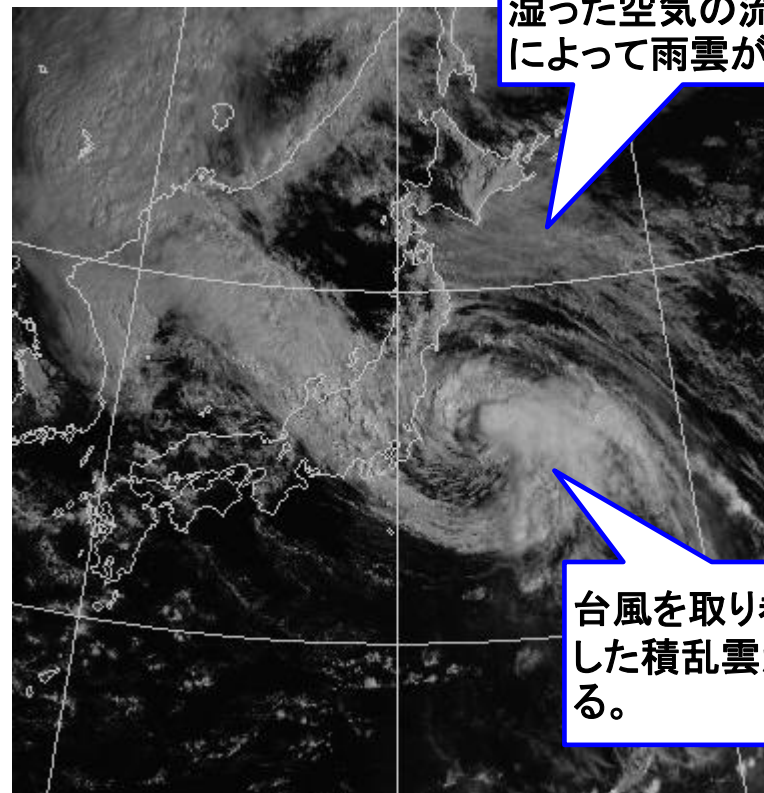


30日6時

天気図

← 湿った空気の流れ

湿った空気の流れ込みによって雨雲が広がる。



台風を取り巻く発達した積乱雲が連なる。

30日9時00分

衛星画像(可視)

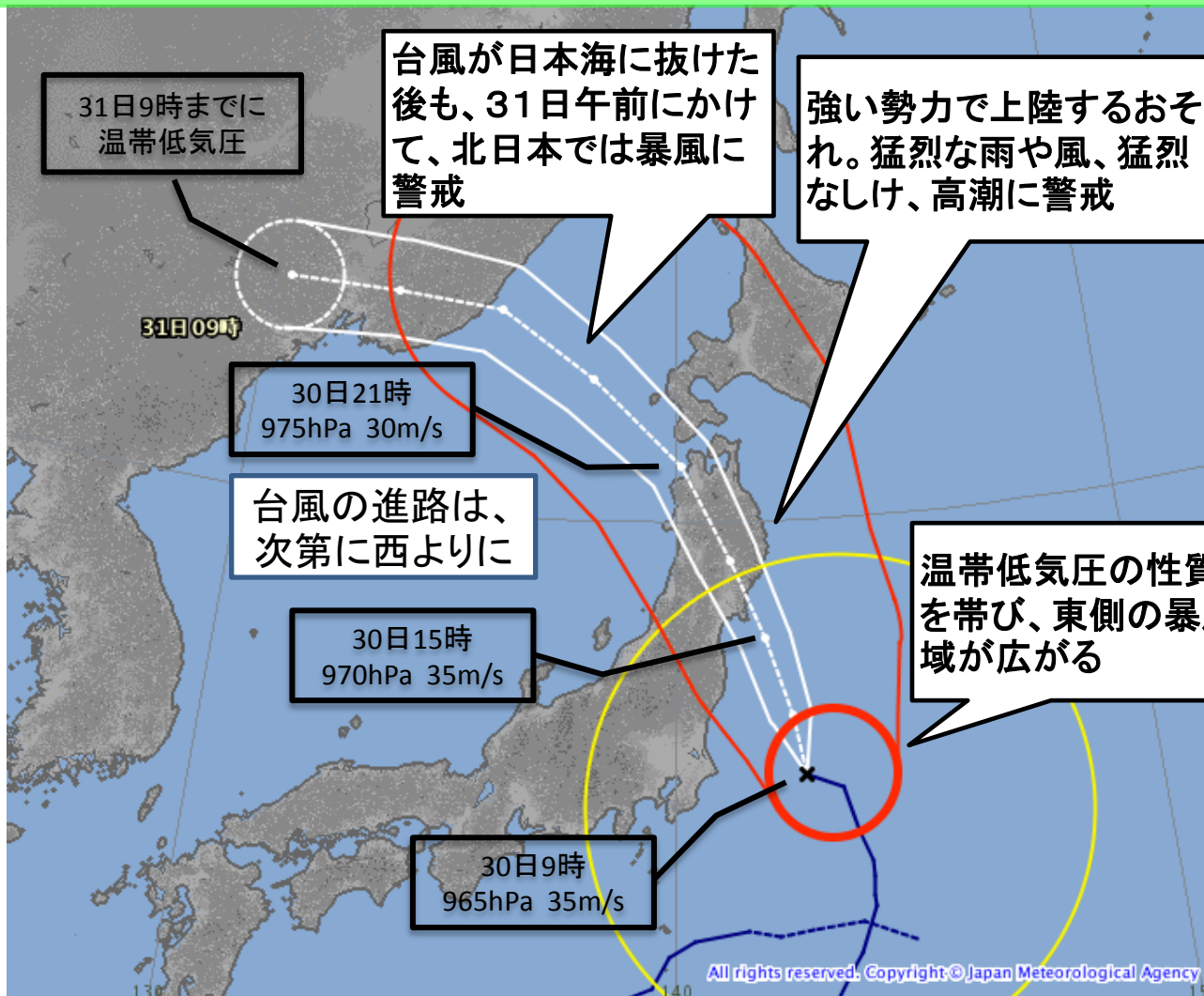
今後の予想を含めた最新の情報は各地の気象台が発表した気象情報をご利用ください。

(天気図: <http://www.ima.go.jp/jp/g3/index.html>)

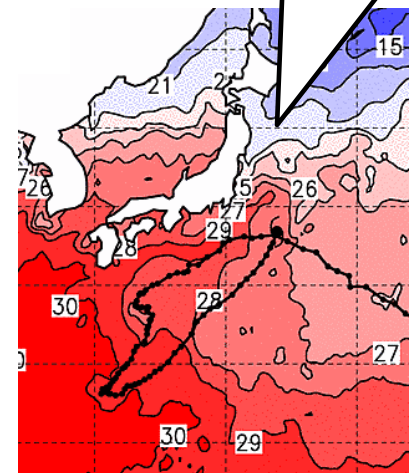
(衛星画像: <http://www.ima.go.jp/jp/gms/>)

台風第10号進路予想

8月30日
11時時点の資料



次第に海水温が低くなる海域に進み、台風としては発達しなくなる



台風進路予想図(30日9時)

海面水温分布(8月29日)

今後の予想を含めた最新の情報は、各地の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(台風情報：<http://www.jma.go.jp/jp/typh/>)

予想天気図(30日21時)

8月30日
11時時点の資料

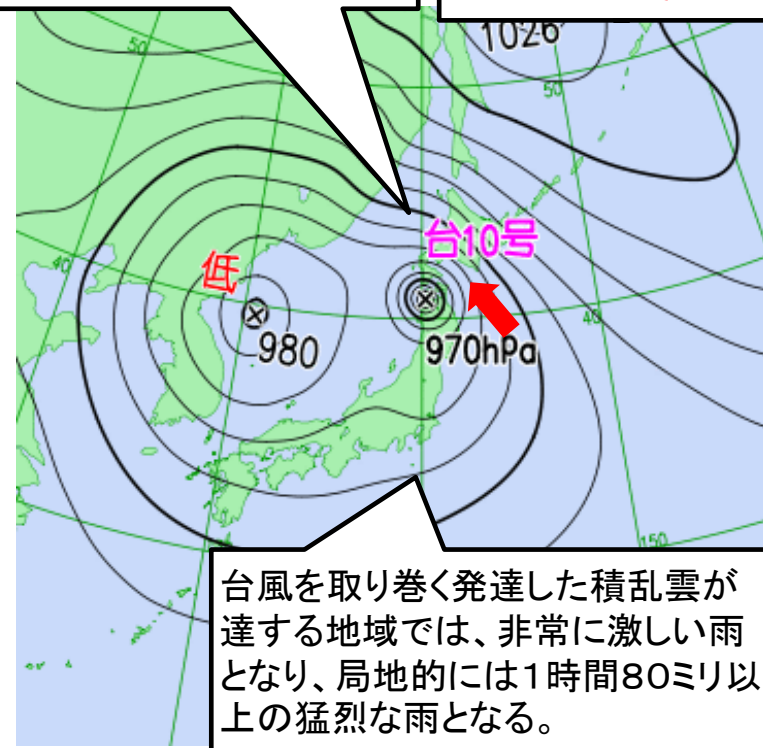
偏西風が大きく蛇行し、寒気を伴う上空の低気圧が日本海に停滞。この影響もあり、台風は温帯低気圧の性質を帯びつつ、加速しながら北西へ進む見込み。



上空約5500m(500hPa面)
の予想天気図(30日21時)

北日本の太平洋側では、東よりの湿った空気の流れにより激しい雨。

北日本では、**平年の8月1ヶ月分程度の降水量となるおそれ**



地上の予想天気図
30日21時

← 湿った空気の流れ

今後の予想を含めた最新の情報は、各地の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(台風情報: <http://www.jma.go.jp/jp/typh/>)

今後の防災上の警戒事項〔量的予想〕

8月30日
11時時点の資料

■ 大 雨

・東北地方は30日に、1時間50ミリ以上の非常に激しい雨、局地的には1時間80ミリ以上の猛烈な雨のおそれ。北海道地方は31日午前にかけて、1時間50ミリ以上の非常に激しい雨のおそれ。

・31日12時までの24時間雨量(多いところ)

東北地方	250ミリ
北海道地方	200ミリ
北陸地方	100ミリ

■ 竜巻などの激しい突風

・台風から離れた地域でも発生することがあり、要注意。

今後の予想を含めた最新の情報は、各地の気象台が発表した気象情報をご利用ください。

(全般台風情報: http://www.jma.go.jp/jp/typh/typh_text.html)

(各地の気象情報: <http://www.jma.go.jp/jp/kishojoho/>)

今後の防災上の警戒事項〔量的予想〕

8月30日
11時時点の資料

■ 暴 風

- ・31日までの最大風速（最大瞬間風速）

東北地方	35メートル（50メートル）
北海道地方	30メートル（45メートル）
関東地方	23メートル（35メートル）

台風が日本海に進んだ後も、北日本では、31日午前にかけて暴風が続くおそれがある。

■ 高 波

- ・31日までの波の高さ

東北地方	10メートル
北海道地方、関東地方	8メートル

台風が日本海に進んだ後も、北日本では、31日昼過ぎにかけてうねりを伴い大しけが続く見込み。

■ 高 潮

- ・大潮期間で、31日未明にかけて、北日本で高潮に警戒。

今後の予想を含めた最新の情報は、各地の気象台が発表した気象情報をご利用ください。

（全般台風情報： http://www.jma.go.jp/jp/typh/typh_text.html ）

（各地の気象情報： <http://www.jma.go.jp/jp/kishoioho/> ）

台風による雨・風・波に警戒を要する期間

8月30日
11時時点の資料

	30日		31日		
	昼	夜	朝	昼	夜
北海道	   				
東北	   				
関東甲信	 				
伊豆諸島					

警戒期間は、台風の速度や進路によって大きく変わります。

各地の気象台が発表する最新の気象情報を利用してください。

◎大雨・洪水：

◎暴風：

◎高波：

◎高潮：

今後の予想を含めた最新の情報は各地の気象台が発表した気象情報をご利用ください。

(気象警報・注意報：<http://www.jma.go.jp/jp/warn/>)

(各地の気象情報：<http://www.jma.go.jp/jp/kishojoho/>)

今後の予想を含めた最新の情報は、以下からご利用ください。

○気象警報・注意報(大雨,洪水,暴風(雪),波浪,高潮,大雪などによる、災害のおそれを警告・注意する)

<http://www.jma.go.jp/jp/warn/>

○各地の気象情報(気象概況や大雨の見通し)

<http://www.jma.go.jp/jp/kishojoho/>

○台風情報(台風の位置・強さ・速度などの解析・予報、大雨や暴風の見通し)

<http://www.jma.go.jp/jp/typh/>

○指定河川洪水予報(国や都道府県の管理する主な河川のはん濫の危険度を予測)

<http://www.jma.go.jp/jp/flood/>

○土砂災害警戒情報(避難勧告等の応急対応が必要な土砂災害への警戒を呼びかける)

<http://www.jma.go.jp/jp/dosha/>

○土砂災害警戒判定メッシュ情報(土砂災害の危険度の高まっている領域を5kmメッシュで表示)

<http://www.jma.go.jp/jp/doshamesh/>

○最新の気象データ(高解像度降水ナウキャスト、解析雨量・降水短時間予報、雨や風の観測データ、衛星画像)

<http://www.jma.go.jp/jp/highresorad/>

<http://www.jma.go.jp/jp/radnowc/>

<http://www.jma.go.jp/jp/radame/>

http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/mdrr/pre_rct/index24_rct.html

http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/mdrr/wind_rct/index_mxwsp.html

<http://www.jma.go.jp/jp/gms/>

(本報道発表に関するお問い合わせ)

気象庁予報部予報課:03-3211-8303